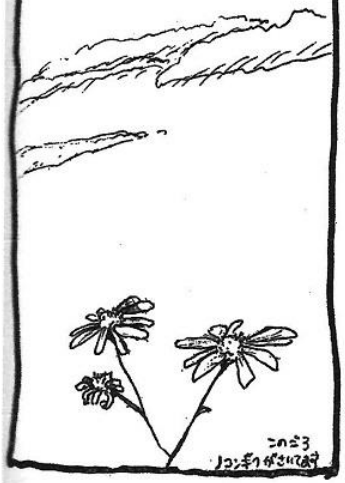
うらばんだいあそび

第4号　1997. 9. 18

たまには目次。

■怒濤の8月がいった。——1
■サブレンジャー活動のようすをちょとご紹介します——3
■虫定平のまつりの日——4
■わお。インターネットでいまの裏磐梯の自然がわかるのです。——6
■はれがさやの本だな——7
■ヰマキのつくりかた——8



うん、来てますね、秋。

怒濤の8月がいった。

うらばんだい バイト暮らしの夏。1年目。

3月　裏磐梯に移り住む。仕事少々。
4月　仕事、まれにある。
5月　ゴールデンウィークはあ、たなあ、仕事。
6月　実家にいた。空白の期間。
6月下旬　裏磐梯に戻る。
家の前の草が、いない間にすっかり伸びているのに驚く。
季節はだいぶ変わってしまった。
裏磐梯のあちらこちらで草刈りしている。
道路沿い、敷地内、畑まわりなどなど。
私も自分の仕事の1つ、草刈りをはじめる。

7月　よく降る。梅雨なんですね。
雨が降ると、このごろの唯一の仕事、草刈りを休んでいたけど、雨の日が多すぎてはかどらない。
19日頃からは観光客がくるってのに。そんなわけで雨の中、草刈りする日もありました。
そして草刈りが終わらないまま夏休み——すなわちお客さんがいっぱいくるシーズンに突入。
これが私の場合の心をくすぐとがって忙しい!!
毎日を招いたのでした。

このごろ あんまりにも間があいた——と あせって、第3号つくりました。

このサングラスはまぶしさ防止ではありません。草刈り作業ではねとばした物が、刃が欠けて作業で目に入らないようにです。

このごろの、フルメニューの1日は、6:00頃、草刈り開始。8:00頃「あとづけ」をみつつ、朝ごはん。再び草刈り。着がえて11:00〜2:00 2つ目の仕事。終わるとそうじのバイト(3つ目の仕事ですね)。余力がある時はまた着がえて草刈り。日が暮れる。ごはん作って食べたりしてると夜が更ける。いつのまにか寝てるので、フト起きた深夜、TVも電気もつけっぱなしだ! パチパチ消して「明日も早い」と、フトン敷いて寝てしまう。

こんな調子で、夏休みシーズンの日々は過ぎていき、7月25日からは自分も関わっているサブレン活動(国立公園である うらばんだいにきた人たちに、観察会したり、ごみひろいする)が始まり、昼の仕事が終わってから夜の観察会へ行ったり、そのまま泊まってしまって朝の観察会(6:00起きになる)に出て、家に帰ったりしていた。そしてまた仕事。

4ヶ月ちかく、ひがな1日自分の好きなように過ごす、という生活が続いていたので、切れ目ない この日々がはじめは新鮮だった……なんて言ってられたのは7月のうちだけだったあ!
8月上旬 もう1つバイト(4つ目だ)。その間に前々からの約束のガイドにいくのに、1時間抜けてまたバイトに戻ったり。
そして8月11日からのお盆ウィーク。道路は渋滞、駐車場はいっぱい。観光客がきてこそのバイトなれば、忙しさも最高潮。
夕方、家に戻ってごはん食べると もう起きあがれない。まぶたが開かない。
夏のあいだ、みる花、みる虫が少しずつ変わっていった。変化を記録したいと思っても、思っておしまい。

サブレン活動は8月25日に終わった。そのあたりから客足もだんだん減って、9月になった いま、青々かな"村"に戻っているのでありました。

(バイト暮らしの私の仕事もパタッとなくなるのでした——)